

国重要文化財「旧木下家住宅」 建築技術研修会のご案内について

勝山市北郷町にあります国重要文化財「旧木下家住宅」は、昨年から4か年計画で本格的な修理工事に入りました。

今回の工事は建物をすっぽり覆う覆屋を建設し、その中で骨組だけを残して分解するもので、県内でもここ20～30年間、例のない大規模な工事です。この機会に第1弾として建築に関わる関係者を対象とした研修会を開催しますので、積極的なご参加をお待ちしております。

記

1. 日 時 平成28年5月22日（日）

午後 1 時 30 分～午後 4 時 30 分まで

2. 内 容 ・ 午後 1 時 30 分～午後 3 時 北郷公民館で講義

【旧木下家住宅について 工事の概要、他の修理事例】

講師：福井宇洋氏（福井大学）、（有）山本製材

・ 午後 3 時 30 分～午後 4 時 30 分 建物見学

3. その他 ・ 要申込み（5月18日までに下記宛てにお願いします）

・ 参加費無料

・ 午後 1 時 30 分までに北郷公民館へお越しください。

— 国指定重要文化財「旧木下家住宅」とは？ —

旧木下家住宅は、平成22年6月に国重要文化財の指定を受けました。

今から180年ほど前の天保7年(1836)に上棟され、同10年に完成しました。完成以後の増改築が少なく、創建当初の状態を良く留めていることから、江戸時代後期における質の高い上層民家の様子を今に伝える数少ない建物といえます。

しかし、建物は老朽化により各所に傷みが生じており、国民共有の財産として永久保存を図っていくために、去年から4か年計画で本格的な修理工事を開始しました。



覆屋設置が始まった旧木下家

申し込み先

勝山市教育委員会史蹟整備課

TEL0779-88-8113(直通)